



人生を楽しむ

発行 白馬中学校

<https://hakubajh.ed.jp/>

令和 7 年度 前期後期 終始業式

学校長の話より（要旨）



皆さん、前期は本当にお疲れさまでした！ 通知表をもらい、様々な思いを胸にしていることでしょう。

さて、突然ですが、皆さんに一つ質問です。「最近、心が動いた瞬間はありましたか？」

私は、先日の総合発表会で心を動かされました。クラス video、運動会、総合的な学習発表、合唱コンクール、自由発表、展示、裏方、応援。どれもが本当に素晴らしかった。地域や来賓の方々からも「感動した」「すごい熱気だ」と大変好評で、特に 3 年生を中心に多くの人が涙を流していましたね。

感動は「本気の愛と行動」から生まれる

二つ目の問いです。「なぜ、あれほどの感動が生まれたのでしょうか？」ただ歌がうまかったから、ただ賞状が取れたから、ただステージで発表したから——それだけでは人は涙を流しません。人の心を動かすのは、「想いのこもった行動」と「仲間とつくった時間」です。

まとめると、**心を動かす力＝「想い×仲間×行動」**。これら

がすべて本気だったからです。役員として頑張った人。クラスや学年を引っ張った人。裏方で仲間を支えた人。失敗から立ち上がった人。プレッシャーに立ち向かった人。こうした様々な「本気」が、見ている人の心を動かしたのです。

ここで、私たちの学校のビジョン「愛のある学校」を思い出してください。総合発表会の中には、確かにさまざまな「愛」がありました。「支えあい」「信じあい」「語りあい」など、たくさんの「あい」があったからこそ、あの感動が生まれたのです。そして、学校教育目標は『人生を楽しむ』。準備、練習、本番、達成感、涙……あの時皆さんは「本気で人生を楽しんでいた」と思います。



後期：人生を楽しむ 100 日

では後期、皆さんは「どんな風に人生を楽しむつもりですか？」勉強に本気で向き合い、進路を見つめますか？部活や行事、生徒会に打ち込みますか？何気ない日々の中で誰かの力になりますか？

なんとなく後期を過ごしてしまったら、本当にもったいない。後期の登校日数は約 100 日です。入試やスキーの大会などで、みんなが揃っての授業はさらに少ないでしょう。大きなイベントはありませんが、自分の中身を作る、自分を充実させるための大切な時期です。卒業や進級までの仕上げをしましょう！

後期の主な取り組み

① 学習の充実期

前期の成績はあくまで途中経過です。今年度の学びは、後期を含めた学習で評価されます。基本の授業を大切にしてください。3年生にとって、入試が最後の試練となります。今年は入試の手続きも大きく変わるので、対策は早めに、どんどん相談しながら進めましょう。

- テスト予定：10/15（3年）、11/18、1/14（3年）、2/12

② NEW あいTIME

後期は気分一新、「本物の楽しさ」を目指し、人生を豊かにする時間にしていきましょう。ヨガや軽運動、スクラップなどに加え、選択制でいろいろな講座を自分で選んで取り組んでもらいます。地域の方や先生方にも協力してもらおうのでお楽しみに！

③ 人権学習・地域との交流

11月は人権月間です。教科の学習だけが大事ではないと皆さんも気づき始めています。一人ひとりが魅力的で心豊かな人になるための大切な学習です。戦場フォトグラファー青木弘さんのPTA講演会も予定しています。他にも、各学年の総合的な学習のまとめ（11/21）、HISとの交流、1年生の冬の職場体験学習、3年生：白馬村議会体験などがあります。-地域に出て、いろいろな人と関わり、交流を深めましょう。

④ 生徒会・進路・卒業

11月末の生徒総会、12月の引き継ぎ会で、3年生から2年生へ生徒会のバトンが渡されます。どんな生徒会にしたいのか、みんなで考えるチャンスです。12月初め：新入生説明会、スキー部：いよいよ本番、1・2年生：1月にスキー教室、2/9：前期入試、3/10：後期入試（ウェブ出願を忘れずに）。そして、あっという間に3年生を送る会、卒業、進級です。



AIにはできないこと



最後に、AIがどんどん進化しているという話をします。AIにはまだできないことがあります。それは、人の心を動かすことです。①誰かを笑顔にすること、②本気の思いを届けること、③仲間と支え合って何かを成し遂げること。それができるのは人間、そして皆さんです。大切なことは、どんな形でも心を込めて行動することです。「愛」を忘れなければ、日々の生活の中でも感動は作れます。

この大事な100日しかない後期。人生を楽しむために、今、自分はどうすべきなのか？このことをよく考え、ぜひ後期の目標を立ててください。

前期で皆さんは確かに成長しました。後期はその力を日常生活で発揮するチャンスです。「心を動かす力」を、これからも自分のために、誰かのために、育ててください。

愛のある学校を、人生を楽しむ力で、一緒に作っていきましょう！

生徒代表の話より（抜粋）

1年生代表 「笑顔で取り組む」



【中学校生活のスタート】元気いっぱいの学びと活動

一年生代表の生徒は、入学式の日、緊張と不安もありながら、中学校生活への大きな期待とワクワク感を抱いていたと振り返ります。小学校と比べて難しくなった勉強や、本格的な部活動などで生活は忙しくなりましたが、私たち一年生は「明るく元気で友達思い」だと胸を張ります。授業中には、互いにヒントを出し合い、教え合う姿も見られるとのこと。

今年の一年生の学年目標は「一笑懸命」。これは、笑顔で物事に取り組むという意味が込められています。学年生徒会では、各委員会が取り組みやすい一年生らしい目標を立て、協力して活動を推進しました。

【団結を深めた行事】ラフティングと総合発表会

前期の行事として、EXアドベンチャー（ラフティングやアスレチック）は、チームやクラスで交流を深め、クラスの仲がより一層深まる良い機会となりました。また、総合発表会では、朝、休み時間に自主的に練習し、互いにアドバイスを贈り合うなど、全員で協力して改善に努めました。本番では、みんなが笑顔で楽しんで全力で取り組み、「とても一笑懸命で、笑顔満載な発表会になった」と感じました。

【後期への抱負】課題を克服し、得意なことに挑戦

前期の活動を通じて、一年生の課題として目標に対する意識やメリハリ、10分前着席、言葉遣いなどが見えてきたと、課題点を挙げています。

後期に向けては、学年生徒会活動や、白馬ならではのウィンタースポーツへの取り組み、そして日常生活の些細なことを大切にしていきたいと抱負を述べました。個人的には、苦手な教科を克服することにも力を入れていきたいと決意を語りました。

2年生代表 「前期の振り返りと後期の抱負」



【前期の成果】自分に合った勉強法で点数アップ！

二年生代表生徒は、前期の頑張りとしてテスト勉強を挙げました。一年生の頃と違い、二年生になってからは問題集に直接書かず、ノートに写して繰り返し復習する勉強法を実践。その結果、テストの点数が大幅に伸びたそうです。「自分に合った勉強のあり方を見つけることが出来た」と、手応えを感じています。この方法で、次のテストでも良い点数を目指すとのこと。

【後期の目標】毎日の学習習慣を定着させ、さらに成績アップへ！

後期に頑張りたいこととして、引き続き勉強を目標に掲げました。特に国語と理科に力を入れたいそうです。前期よりもさらに勉強に励むため、テスト期間外でも毎日少しでも勉強する習慣をつけたいと考えています。そのための具体的な行動として、「学校から帰ったらすぐに横になるのではなく、机に向かってみる」ことを実践するそうです。この習慣を定着させることで、テスト期間にゆとりを持って勉強を進められるようになると期待を込めています。この目標を強く意識して学校生活を送っていくとのこと。

3年生代表 「今私が思うこと」

【夢への挑戦】ダンサーを目指し二拠点生活を送る日々



3年生の代表生徒は、幼い頃から習い始めた「ダンサーになる」という夢を持ち、その実現に向けて邁進しています。ダンスは彼女の生活の中心であり、人々に感動を与えたり、心から楽しいと思える瞬間が最高の喜びだと語ります。特に、東京のクラブチッタという大きな舞台上で特待生に選ばれ、ナンバーを踊った経験は、夢が現実味を帯びたと感じた、非常に印象的な出来事でした。

夢を叶えるため、現在、白馬と東京の二拠点生活を送っています。慣れない東京での一人暮らしでは、自炊や洗濯、ゴミ出しなどをすべて自分でこなし、生活面の苦勞も絶えません。また、片道4～5時間に及ぶ移動は体力的・精神的な負担が大きく、交通費も継続的にかかるため、支えてくれるご両親への感謝の念を強くしています。

【挑戦の中で見つけた真の「自由」】

ダンスと学業の両立にも悩んできました。どちらも中途半端にしたくないという思いがある一方、時間や体力の限界からジレンマを感じることも。自身で選んだ「自由に生きる」という選択の中には、自分で背負う責任や、思うようにいかない不自由さも多く含まれていることに気づきました。

さらに、周りからの偏見や誤解が自信を失いかけるほどメンタルに影響した時期もありましたが、そんな時に友人や先生、家族の支えが心の拠り所となり、困難を乗り越えることができました。この経験を通じて、自分自身の気持ちと向き合う大切さや、周りの人々の支えのありがたさを改めて感じたと言います。

【後期への抱負】学業を土台に夢へ前進

これから迎える後期では、学業により一層力を入れていくと決意を表明しました。「好きなことに挑戦していくためには、学業がしっかりと土台になる」と考え、学びの時間を大切に、日々の勉強に真剣に取り組む姿勢を示しています。また、後期も引き続き友達や先生方とのコミュニケーションを大切にしたいと語りました。

挑戦できる環境と、支えてくれるすべての人に心から感謝しながら、「きっと道のりは辛く、苦しいこともあるでしょう。けれども、決して諦めず、夢が実現するその日まで努力を続けていきます」と力強く決意を述べました。

3人の代表生徒たちの素晴らしい発表でした。後期に向けてそれぞれの目標を大切に出来る学校づくりをしてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



月の予定、学年通信等は、白馬中ホームページ、絆メールにてご確認ください。